

## 【津松阪港】

日時:平成23年10月3日(月) 10時00分～11時30分

場所:三重県教育文化会館 第5会議室

構成員:(座長)三重大学名誉教授、(自治体)三重県、津市、松阪市

(経済団体・企業)津商工会議所、松阪商工会議所、三重海運(株)、セントラル硝子(株)、辻製油(株)、  
ヴァーレ・ジャパン(株)、津エアポートライン(株)、ユニバーサル造船(株)、JFEエンジニアリング(株)

(関係行政機関)四日市海上保安部、鳥羽海上保安部

(事務局)中部地方整備局

## 津松阪港 検討会議での構成員からの主な発言内容

### 1. 地震・津波対策の現状について

- 対策として社員教育や避難訓練を進めている。【民間】
- 岸壁の耐震化や、護岸の液状化対策を実施中。【自治体】
- M9に対応した津波シミュレーションを実施中。(10月3日公表)【自治体】

### 2. 今後の地震・津波対策について

- 人の命が一番。【民間】
- ハード的な整備を進めていく一方、避難におけるソフト対策も重要。【民間】
- 地震等の発生時の対応・対策を進める。【民間】
- 東日本大震災をうけて、老朽化対策を緊急的に対応していく。【自治体】

### 3. その他

- 次回(第2回)会議では、各企業の防災対策や港湾・海岸整備に対する要望について紹介予定。  
※各企業へアンケートを実施。

# 防災対策への取り組みと港湾・海岸等への要望～アンケート結果（津松阪港）～ 資料1

津松阪港を利用する関係企業へ以下のアンケートを実施し、6社から回答を得ました。

アンケートから得られた様々な課題を整理し、今後の地震・津波対策の基本方針に盛り込むと共に、港湾BCPの策定に活かします。

《設問》	☆貴所の防災対策の取組状況 Q1:施設面の防災対策（ハード面） Q2:防災計画（ソフト対策） Q3:事業継続計画（BCP）	☆港湾・海岸等に関してのご要望 Q4:課題 Q5:要望・意見
------	--	--------------------------------------

## 《Q1～Q3への回答》 ※今後の予定・課題

- ・避難場所（建屋）の耐震補強
- ・予備電源や通信手段等の設備導入
- ・非常備蓄品の点検・確保
- ・避難訓練の実施
- ・防災教育・防災マニュアルの見直し
- ・避難場所・避難経路の見直し・明確化
- ・事務所BCP策定
- ・近隣企業と連携した避難場所の指定
- ・航路閉塞に備えた、陸上輸送による燃料確保

## 《Q4～Q5への回答》

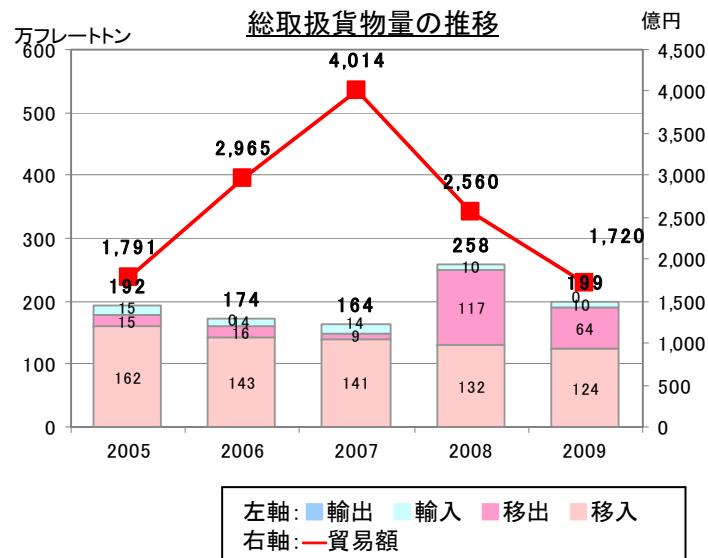
- 避難場所・避難ルート確保に関わる要望・意見
  - ・津波高さ毎のハザードマップの策定、避難場所の指定
- 港湾施設の調査・対策に関わる要望・意見
  - ・港湾施設の健全性（液状化）評価、および結果の共有
  - ・港湾施設の耐震対策、老朽化対策の実施
  - ・港湾施設の被害想定に関する調査・検討
- その他の要望・意見
  - ・新しい地震・津波に関する詳細な説明

### 1. 津松阪港の概要

津松阪港は、伊勢湾西海岸の中央部に位置し、近年においては臨海部への企業立地が進み、中南勢地域の物流の拠点として、また、地域開発の拠点として重要な役割を果たしており、1971年3月に津、松阪両港を合併、同年4月に重要港湾に指定されている。現在では、セメント、砂・砂利、金属類の内貿貨物を中心とする中南勢地域の流通拠点としての役割を果たしている。

### 2. 津松阪港の取扱貨物データ

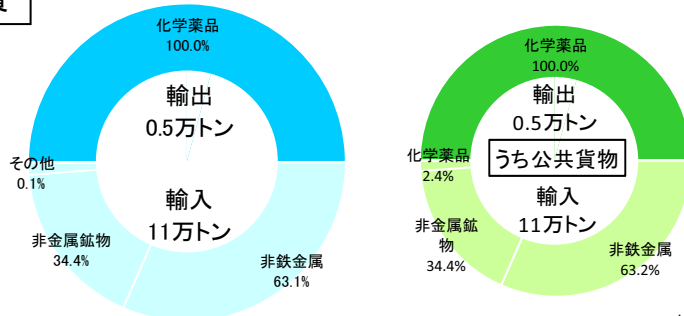
■ 2008年 取扱貨物量 全国123位 (09年速報で132位)



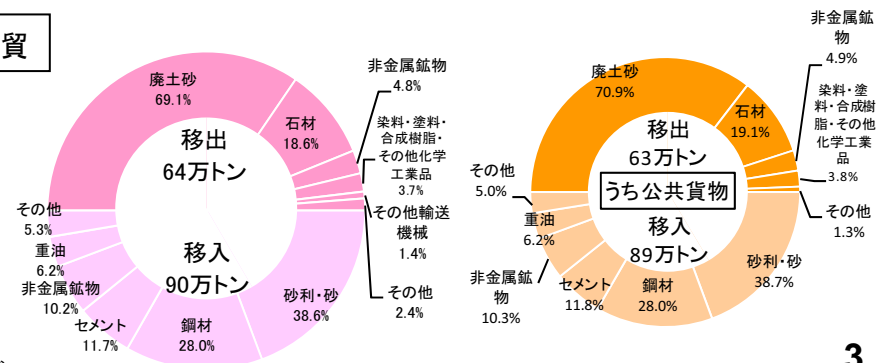
出典：貿易額は財務省「貿易統計」、貨物量2005～2008年は港湾統計(年報)、2009年は国土交通省港湾局調べ

### 取扱貨物の品目内訳(2009年)

#### 外貿



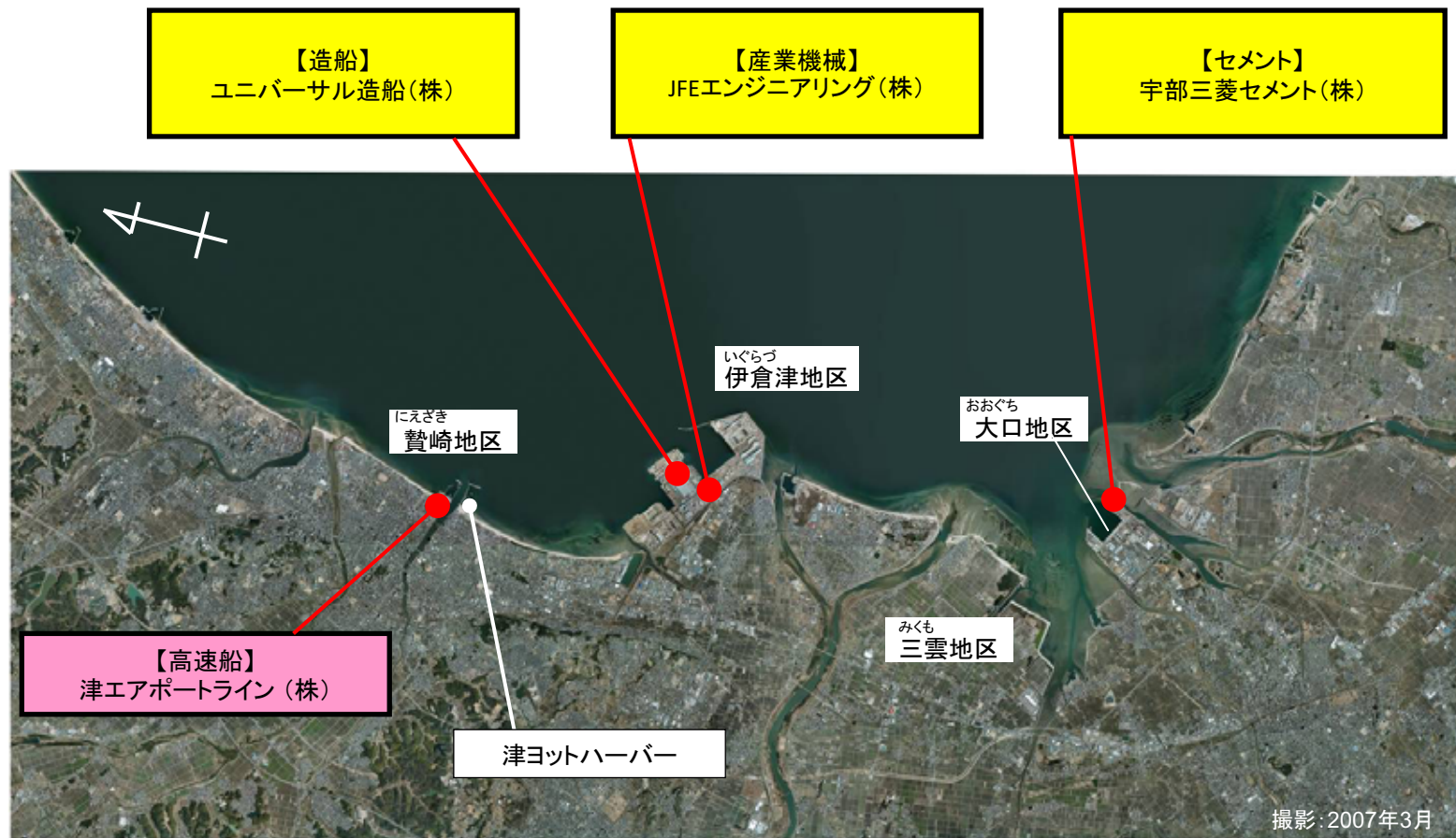
#### 内貿



出典：国土交通省港湾局調べ

## 3. 津松阪港の主な立地企業

- 平成4年度より護岸の老朽化対策として鋭意整備中であるが、今年度より整備を開始する地区もあり、地震発生時には多大な影響が懸念される。
- 堤外地を含む周辺地域には8,000人を超える従業員がおり、地震・津波時の避難対策の充実が必要。



凡例: 製造(工業品) 海運(高速船)

津松阪港堤外地に位置する町丁・大字の従業者数  
約8,000人

※出展: 平成21年 経済センサス基礎調査(総務省)  
編集 中部地方整備局 四日市港湾事務所  
※堤外地に位置する町丁・大字の民営従業者数を計上